

授業科目

産業保健活動論

担当教員名 杉本 洋、和田 直子	対象学年	3	対象学科	看護
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○	○	○

授業の概要

本講義は公衆衛生看護活動の一分野を占める産業保健を扱うものである。既習の公衆衛生看護の理念や提供体制の理解を踏まえ、産業保健に特有な事項についての理解を深めるために、理念等の理論的な立場、また実践的な立場の双方の観点から講義する。

授業の目的

産業看護活動の理念と実際を理解し、産業看護活動を展開するうえで必要となる知識を習得する。

学習目標

1. 産業看護の理念を理解する。
2. 産業看護体制を理解する。
3. 産業保健活動の実際、および看護活動の役割と意義を理解する。
4. 産業看護活動の理解を踏まえ、今後の産業保健・看護を考察する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	【授業概要の提示・産業保健の理論的背景】授業の全体の概要の提示、産業保健・看護の理念についての講義を行う。具体的には、既習の公衆衛生看護にかかわる理論的背景を踏まえながら、産業看護の概説的特徴、産業看護の定義、産業看護で用いられるモデル等について説明する。	講義	杉本 洋
2	【産業保健活動の体制】衛生管理を推進するための体制についての講義を行う。具体的には産業保健にかかわる行政の仕組み、事業場における衛生管理体制等について説明する。	講義	杉本 洋
3	【労働者の現状と産業保健の取り組み1】労働者の現状（職業性疾患、作業関連疾患等の現状等）、産業保健としての対策（職場巡視、健診、メンタルヘルス対策）について講義する。	講義	杉本 洋
4	【産業看護の現場】産業看護活動の現場の実際を講義する。	講義	杉本 洋 他
5	【産業保健の取り組み2】小規模事業場における産業看護体制や活動、地域保健との連携、女性労働者への支援などについての課題と取り組みについて説明する。	講義	杉本 洋 他
6	【産業看護の変遷】産業保健・産業看護活動の実態を、産業看護の変遷を踏まえ、説明する。そして今後の産業保健について検討する。	講義	和田 直子
7	【今後の産業保健の課題】今後の産業保健・看護活動についての課題について講義する。産業保健は重要性が指摘されながらも、産業看護としての法的基盤等整備が不十分な状況にあるなどの課題が残る。現状を踏まえ、いかにして今後の産業保健を充実させるのかの考察を行う。	講義・ディスカッション	杉本 洋
8	まとめ	講義	杉本 洋

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	産業看護学 2017年版	河野啓子	日本看護協会出版会	2017年	3,780円	
参考書						
その他の資料						

評価方法

試験 80%程度
提出課題 20%程度

履修上の留意点

オフィスアワー・連絡先

水曜日11時から13時
sugimoto@nuhw.ac.jp